



## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場取引所 名

上場会社名 中部鋼鉄株式会社

コード番号 5461 URL <http://www.chubukohan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 太田 雅晴

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 村石 喜和

TEL 052-661-3811

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日

平成24年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	17,371	△27.1	△568	—	△523	—	△611	—
24年3月期第2四半期	23,813	10.0	1,374	31.1	1,408	25.1	854	7.8

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 △689百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 753百万円 (18.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	△19.98	—
24年3月期第2四半期	27.94	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第2四半期	58,836		51,388		87.0
24年3月期	59,975		52,231		86.7

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 51,174百万円 24年3月期 52,028百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	2.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	36,200	△16.7	△200	—	△200	—	△400	—	△13.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注)業績予想の修正については、本日(平成24年11月2日)公表の「第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	31,200,000 株	24年3月期	31,200,000 株
25年3月期2Q	601,055 株	24年3月期	601,005 株
25年3月期2Q	30,598,974 株	24年3月期2Q	30,598,995 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(7) 重要な後発事象 .....	11
[ご参考] .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災から緩やかに持ち直しの傾向が見られたものの、欧州債務危機問題や、円高の長期化などから、依然として景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

鉄鋼業界におきましては、震災復旧・復興需要や自動車生産の増加などにより、本年度4～9月の国内粗鋼生産量は5,475万トンと、前年同期比2.7%増となりました。

このような環境のもと、当社グループの主力セグメントである鉄鋼関連事業につきましては、建設向け需要、建設機械、産業機械向け需要とも低調ではありましたが、受注量の確保に尽力するとともにコスト削減と生産効率の向上に取り組んでまいりました。また、その他事業につきましてもそれぞれが懸命な営業活動を展開してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は173億7千1百万円と前年同期比64億4千2百万円の減収、連結経常損失は5億2千3百万円の損失（前年同四半期連結累計期間の連結経常利益は14億8百万円）、連結四半期純損失は6億1千1百万円（前年同四半期連結累計期間の連結四半期純利益は8億5千4百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

#### （鉄鋼関連事業）

鉄鋼関連事業は、当セグメントの主要製品である厚板の販売価格の低迷と販売数量の減少により、売上高は164億8千4百万円と前年同期比64億2千9百万円の減収となり、損失は6億4千5百万円のセグメント損失（営業損失）（前年同四半期連結累計期間のセグメント利益（営業利益）は12億5千7百万円）となりました。

#### （レンタル事業）

レンタル事業は、新規顧客獲得に向けて積極的な営業活動を展開したものの、売上高は2億2千5百万円と前年同期比0百万円の減収となり、セグメント利益（営業利益）も4千2百万円と前年同期比4百万円の減益となりました。

#### （物流事業）

物流事業は、受注量の減少により、売上高は1億5千9百万円と前年同期比8百万円の減収となり、セグメント利益（営業利益）は4千8百万円と前年同期比1千1百万円の減益となりました。

#### （エンジニアリング事業）

エンジニアリング事業は、ユーザーからの受注減により、売上高は5億1百万円と前年同期比3百万円の減収となり、損失も4千7百万円のセグメント損失（営業損失）（前年同四半期連結累計期間のセグメント損失（営業損失）は1千7百万円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産状況

##### （資産の部）

流動資産は、270億7百万円で、前連結会計年度末より、12億2千7百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金が減少したことによるものです。

固定資産は、318億2千9百万円で、前連結会計年度末より、8千8百万円の増加となりました。その主な要因は、EF炉用変圧器更新に伴う機械及び装置の取得によるものです。

##### （負債の部）

流動負債は、59億8千5百万円で、前連結会計年度末より、4億2百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が減少したことによるものです。

固定負債は、14億6千2百万円で、前連結会計年度末より、1億6百万円の増加となりました。その主な要因は、退職給付引当金が増加したことによるものです。

##### （純資産の部）

純資産は、513億8千8百万円で、前連結会計年度末より、8億4千2百万円の減少となりました。その主な要因は、四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによるものです。

#### ② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、43億7千9百万円となり、前連結会計年度末より、14億9千5百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による収入は、7億4百万円（前年同四半期連結累計期間は9億9千4百万円の収入）となりました。

主として、税金等調整前四半期純損失7億5千1百万円などの支出があったものの、減価償却費13億7百万円などの収入があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による収入は、9億5千2百万円(前年同四半期連結累計期間は24億7千7百万円の支出)となりました。

主として、有価証券の取得33億円、有形固定資産の取得9億8千9百万円、及び投資有価証券の取得6億1千2百万円などの支出があったものの、定期預金の払戻38億円、及び有価証券及び投資有価証券の売却及び償還26億円などの収入があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による支出は、1億6千2百万円(前年同四半期連結累計期間は2億6千9百万円の支出)となりました。

主として、配当金の支払額1億5千3百万円などの支出があったことによるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主力セグメントである鉄鋼関連事業、とりわけ当社の主力製品である国内厚板需要の下期見通しにつきましては、造船向けは起工量の減少により低迷が続き、産業機械・建設機械向けにつきましても中国経済減速の影響から需要の減退が顕在化するものと考えております。しかし、建設需要につきましては下期にて増加することが見込まれますことから、一層の需要家ニーズへの迅速な対応で受注販売量の確保に努めてまいります。販売価格につきましては輸入厚板の増加や国内販売競争の激化も懸念されますことから、今後も安値基調で推移するものと想定しております。

このような状況のもと、当期の業績予想につきましては平成24年5月2日公表の数値を連結売上高36,200百万円(前連結会計年度比16.7%減)連結営業損失200百万円、連結経常損失200百万円に下方修正しますが、マーケット環境は非常に流動的と予想されますことから、今後、業績予想の修正を行なう必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

業績予想に関する事項につきましては、本日平成24年11月2日公表の「第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

連結子会社は、法人税法改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,489	3,990
受取手形及び売掛金	12,420	12,023
有価証券	4,306	5,092
商品及び製品	2,364	2,339
仕掛品	808	779
原材料及び貯蔵品	2,603	2,317
繰延税金資産	182	401
その他	79	79
貸倒引当金	△19	△16
流動資産合計	28,234	27,007
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,775	7,611
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	18,447	18,734
土地	1,525	1,525
建設仮勘定	58	53
その他（純額）	9	12
有形固定資産合計	27,816	27,937
無形固定資産		
	127	155
投資その他の資産		
投資有価証券	2,933	2,804
長期貸付金	7	7
繰延税金資産	701	747
その他	211	234
貸倒引当金	△57	△57
投資その他の資産合計	3,796	3,736
固定資産合計	31,741	31,829
資産合計	59,975	58,836

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,442	3,935
未払金	854	1,382
未払法人税等	254	90
未払消費税等	240	18
賞与引当金	360	359
役員賞与引当金	5	1
その他	230	197
流動負債合計	6,388	5,985
固定負債		
退職給付引当金	1,235	1,302
役員退職慰労引当金	21	15
その他	98	144
固定負債合計	1,356	1,462
負債合計	7,744	7,448
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,907	5,907
資本剰余金	4,728	4,728
利益剰余金	41,490	40,726
自己株式	△289	△289
株主資本合計	51,836	51,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	191	102
その他の包括利益累計額合計	191	102
少数株主持分	203	214
純資産合計	52,231	51,388
負債純資産合計	59,975	58,836



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	23,813	17,371
売上原価	20,204	15,913
売上総利益	3,609	1,458
販売費及び一般管理費		
販売運賃	1,165	979
役員報酬及び給料手当	462	457
貸倒引当金繰入額	0	—
賞与引当金繰入額	129	125
退職給付引当金繰入額	63	39
その他	412	425
販売費及び一般管理費合計	2,234	2,027
営業利益又は営業損失(△)	1,374	△568
営業外収益		
受取利息	23	27
受取配当金	23	16
受取賃貸料	29	30
還付加算金	0	—
雑収入	13	24
営業外収益合計	91	99
営業外費用		
支払利息	4	3
固定資産処分損	40	42
雑損失	11	7
営業外費用合計	57	54
経常利益又は経常損失(△)	1,408	△523
特別損失		
会員権評価損	—	0
会員権売却損	1	—
投資有価証券評価損	5	226
特別損失合計	6	227
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,402	△751
法人税等	532	△151
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	869	△599
少数株主利益	14	11
四半期純利益又は四半期純損失(△)	854	△611

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	869	△599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△115	△89
その他の包括利益合計	△115	△89
四半期包括利益	753	△689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	739	△700
少数株主に係る四半期包括利益	14	11

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,402	△751
減価償却費	1,304	1,307
投資有価証券評価損益(△は益)	5	226
会員権評価損	—	0
会員権売却損益(△は益)	1	—
固定資産処分損益(△は益)	40	42
引当金の増減額(△は減少)	82	51
受取利息及び受取配当金	△47	△43
支払利息	4	3
売上債権の増減額(△は増加)	△1,724	396
たな卸資産の増減額(△は増加)	490	340
仕入債務の増減額(△は減少)	△380	△507
未払消費税等の増減額(△は減少)	△25	△222
その他	△107	49
小計	1,047	894
利息及び配当金の受取額	42	51
利息の支払額	△4	△3
法人税等の支払額	△125	△236
法人税等の還付額	34	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	994	704
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,306	△506
定期預金の払戻による収入	—	3,800
有形固定資産の取得による支出	△634	△989
有形固定資産の売却による収入	1	10
有価証券の取得による支出	△1,100	△3,300
投資有価証券の取得による支出	△609	△612
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	3,196	2,600
その他	△24	△49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,477	952
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△115	—
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△154	△153
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
その他	—	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△269	△162
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,752	1,495
現金及び現金同等物の期首残高	4,021	2,884
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,268	4,379

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	鉄鋼関連事業	レンタル事業	物流事業	エンジニアリング事業	
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	22,913	226	168	505	23,813
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	32	2	1,208	341	1,585
計	22,945	228	1,377	847	25,399
セグメント利益又はセグメント損失(△)	1,257	47	60	△17	1,347

## 2 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する情報)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,347
セグメント間取引消去	26
第2四半期連結損益計算書の営業利益	1,374

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	鉄鋼関連事業	レンタル事業	物流事業	エンジニアリング事業	
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	16,484	225	159	501	17,371
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	11	3	1,015	375	1,406
計	16,495	229	1,175	877	18,777
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△645	42	48	△47	△601

## 2 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する情報)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△601
セグメント間取引消去	32
第2四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△568

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

[ご参考]

## 業績比較

平成24年11月2日

## 1. 2012年度上期 単独業績

## (1) 損益比較

(単位:百万円)

	23年度上期	24年度上期	増減	
売上高	22,080	15,662	△	6,418 販 価 △16.2%
営業利益又は営業損失(△)	1,212	△ 659	△	1,871 売上数量△15.4%
営業外損益	30	40	+	9 売上高 △29.1%
経常利益又は経常損失(△)	1,242	△ 619	△	1,861
特別損益	△ 6	△ 227	△	221
四半期純利益又は四半期純損失(△)	774	△ 629	△	1,404

## (2) 経常利益増減要因

(単位:百万円)

増加要因		減少要因	
① 製造コストの低減	2,404	① 販売数量の減少	441
② 販売運賃の減少	185	② 販売単価の下落	3,148
③ 一般管理費の減少	14	③ 製造コストの上昇	884
④ 営業外収益の増加	7		
⑤ 営業外費用の減少	2		
計	2,612	計	4,473
増減合計		△ 1,861	

## 2. 2012年度上期 連結業績

## (1) 連結損益計算書

(単位:百万円)

	23年度上期	24年度上期	増減	
売上高	23,813	17,371	△	6,442
売上原価	20,204	15,913	△	4,291
販売費及び一般管理費	2,234	2,027	△	207
営業利益又は営業損失(△)	1,374	△ 568	△	1,943
営業外収益	91	99	+	8
営業外費用	57	54	△	3
経常利益又は経常損失(△)	1,408	△ 523	△	1,932
特別利益	-	-	-	-
特別損失	6	227	+	221
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,402	△ 751	△	2,153
法人税等	532	△ 151	△	684
少数株主利益	14	11	△	2
四半期純利益又は四半期純損失(△)	854	△ 611	△	1,466

## (2) 連結キャッシュフロー(CF)

(単位:百万円)

	24年度上期	(前年度比)	
I. 営業活動によるCF	704	△	289
II. 投資活動によるCF	952	+	3,430
III. 財務活動によるCF	△ 162	+	106
IV. 増減額	1,495	+	3,247
V. 現金・同等物の期首残高	2,884	△	1,136
VI. 現金・同等物の期末残高	4,379	+	2,110

## (3) 貸借対照表

(単位:百万円)

資 産 の 部	単独	連結	(前年度比)		負 債 の 部	単独	連結	(前年度比)	
流動資産	26,516	27,007	△	1,227	流動負債	7,786	5,985	△	402
当座資産	20,707	21,106	△	1,110	支手及び買掛金	3,325	3,935	△	507
棚卸資産	5,374	5,436	△	340	短期借入金	2,267	-	-	-
その他	435	464	+	222	その他	2,193	2,050	+	104
固定資産	31,667	31,829	+	88	固定負債	1,350	1,462	+	106
有形固定資産	27,104	27,937	+	120	純 資 産 の 部	49,047	51,388	△	842
無形固定資産	142	155	+	27	株主資本	48,942	51,072	△	764
その他	4,420	3,736	△	59	資本金	5,907	5,907	-	-
					資本剰余金	4,728	4,728	-	-
					利益剰余金等	38,306	40,436	△	764
					評価換算差額等	104	102	△	89
					少数株主持分	-	214	+	10
資産	58,183	58,836	△	1,139	負債・純資産	58,183	58,836	△	1,139

## 3. H25年3月期 連結・単独業績予想

(単位:百万円)

	単独	(前年度比)	連結	(前年度比)
売上高	32,400	△ 18.5	36,200	△ 16.7
経常損失	400	—	200	—
当期純損失	500	—	400	—